Menicon



メニコン統合レポート

2018

Integrated Report 2018



代表執行役社長 田中英成

エンドユーザーファーストの思いを胸に、日本や世界で必要とされる企業として成長し続ける

事業戦略が大きく実を結んだ第61期業績

皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。私どもメニコンは「より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献する」をコーポレートスローガンに掲げ、「エンドユーザーファースト」の思いを胸に、コンタクトレンズをお使いになる皆様の眼の健康を守ることを第一優先として事業活動を行っております。

前期における世界経済は、欧米では堅調な経済状況が続いており、中国およびその他新興国でも景気の回復基調が見られました。一方で国内経済は、雇用や所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。このような状況下、コンタクトレンズ市場では、国内においてディスポーザブル（使い捨て）コンタクトレンズやカラーコンタクトレンズが市場を牽引しております。また、海外においては米国を中心としてディスポーザブルコンタクトレンズの需要が増加しており、中国では睡眠中に装用することで近視矯正効果のあるオルソケラトロジー用のレンズやコンタクトレンズケア用品の需要が増加しております。

これを受けて、メニコングループの業績は順調に推移しております。2018年３月期の決算におきまして、連結売上高は過去最高の766億円と、前期比6.4%の伸長となりました。連結営業利益は43億円と前期比12.4%の増益で、親会社株主に帰属する当期純利益は26億円と前期比4.5%の増益となりました。

増収、増益を支えたのは、会員制システムのメルスプランを中心に販売促進に取り組んだことで、1日使い捨てコンタクトレンズと2週間定期交換タイプコンタクトレンズで会員数の拡大につながりました。その結果、前年度より約5万人増加、約127万人（2018年3月末時点）の皆様にご利用いただいております。

さらなる飛躍に向けて、第62期の業績達成に臨む

今期は引き続き、1日使い捨てコンタクトレンズの拡販に取り組みます。「１DAYメニコン プレミオ」「Magic」のパッケージ機能を訴求したSMART TOUCH（スマートタッチ）の普及に向けたプロモーションを実施します。スマートタッチは、コンタクトレンズの内面にふれることなく、簡単で清潔に装用できるメニコン独自のコンセプトです。



日本のみならず世界でも通用する、この特徴をアピールすることで1日使い捨てコンタクトレンズのシェアを伸張させていきます。すでに欧州を皮切りに北米、中国など海外市場への展開を進めており、今後さらなる商品の生産が必要です。今期は「１DAYメニコン プレミオ」を生産する各務原工場の増築、製造ラインの増設など、生産体制の拡充を進めてまいります。「眼の安全」をグローバルスタンダード化するメニコンの世界戦略が、今期の大きな機軸と言えるでしょう。

そして、事業の継続的な成長には、人材をいかに活用するかが大切なポイントとなってきます。働き方改革という面では、社員とともに楽しく働ける会社をつくりあげていきたいと考えております。メニコンは「スマートクリエーション」というテーマワードを掲げ、フリーアドレス制オフィスなどの施策を実施し、社員同士のコミュニケーションを活性化させ、その職場環境だからこそ生まれる斬新な発想、新しい価値観づくりを日常的に具現化できるような組織づくりを目指していきます。



すべてのステークホルダーの皆様から尊敬され愛されるナンバーワン、オンリーワン企業を目指して、今後に向けてより良い商品とサービスをお届けできるよう、尽力してまいります。これからも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

01 トップメッセージ・目次

経営・事業活動のご報告

03 数字で見るメニコン
05 財務・非財務トレンド
07 メニコンのあゆみ
09 価値創造モデル
11 事業戦略
15 コーポレート・ガバナンス
16 社外取締役メッセージ

社会・環境活動のご報告

17 特集 Menicon Standard
19 ①スマートクリエーション
20 ②動物の眼科医療、サプリ開発
21 事業活動

会社概要

23 取締役および執行役
25 会社概要および株式の状況
26 関係会社一覧



メニコン本社

ビジネス編

社会に関するデータ

●連結売上高



第61期
(2018/3)

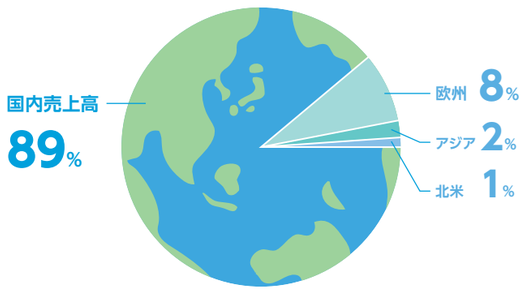
●営業利益＋営業利益率

営業利益 **43**億円
営業利益率 **5.7**%

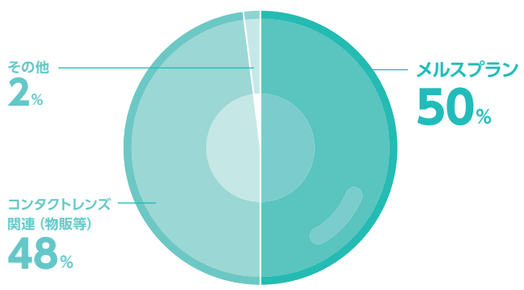


第61期
(2018/3)

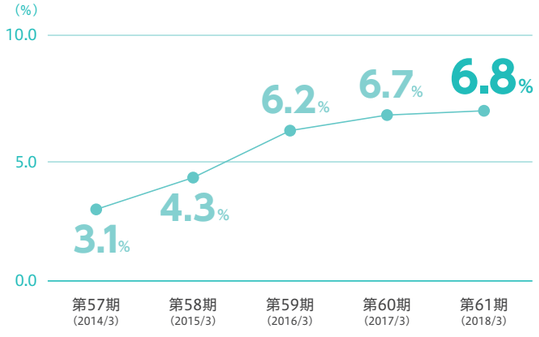
●地域別売上高



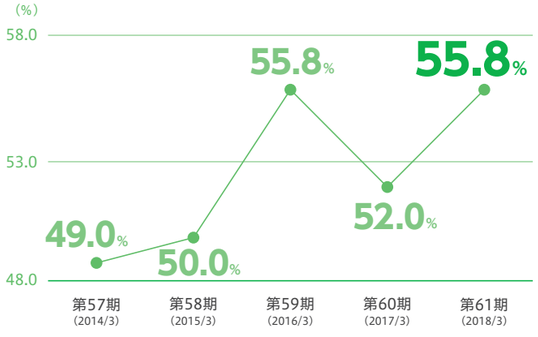
●セグメント割合



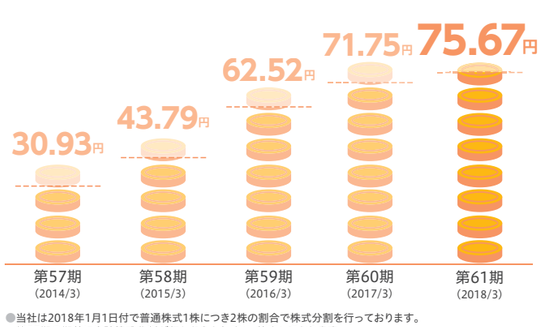
●ROE（自己資本利益率）



●自己資本比率

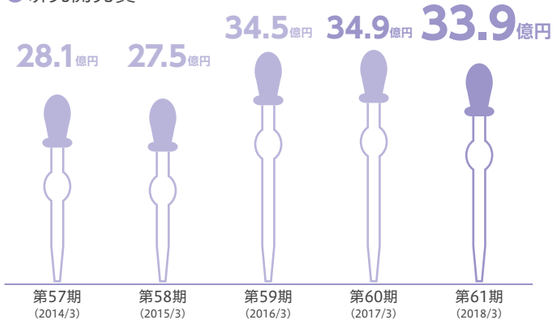


●EPS（一株あたりの純利益）



●当社は2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
第57期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

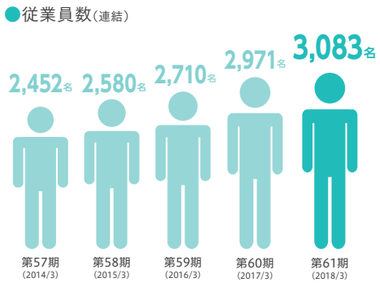
●研究開発費



ESG編

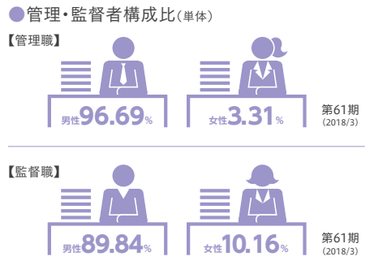
従業員に関するデータ

●従業員数（連結）



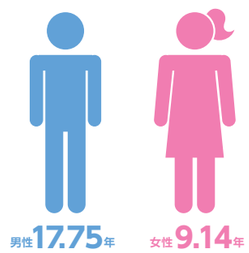
●取締役、執行役、顧問、派遣、パートおよびアルバイトは含まれておりません。

●管理・監督者構成比（単体）



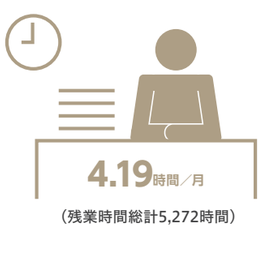
●2020年4月1日時点で、女性の比率を、管理職4.0%以上、
監督職20.0%以上とすることを目標としています。

●平均勤務年数（単体）



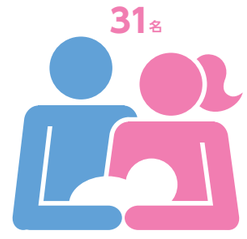
（全体14.53年）
第61期
(2018/3)

●平均残業時間（単体）



（残業時間総計5,272時間）
第61期
(2018/3)

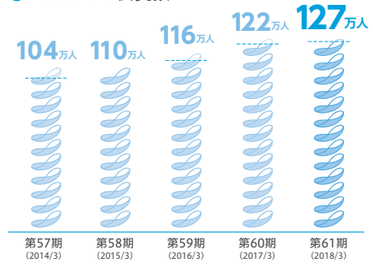
●育児休業取得者数（単体）



第61期
(2018/3)

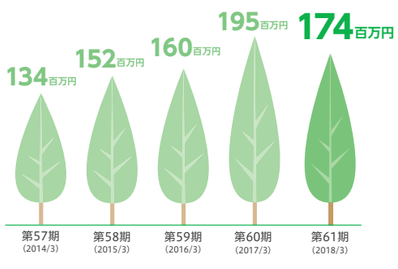
エンドユーザーに関するデータ

●メルスプラン会員数

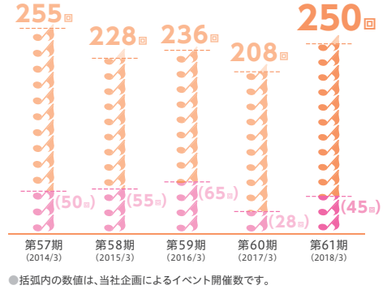


社会に関するデータ

●環境関連ビジネス売上高（単体）



●HITOMIホールでのイベント開催数



●括弧内の数値は、当社企画によるイベント開催数です。

財務・非財務トレンド FINANCIAL HIGHLIGHT

株式会社メニコンおよび連結子会社　3月31日に終了した事業年度

	第57期 2014年3月期	第58期 2015年3月期	第59期 2016年3月期	第60期 2017年3月期	第61期 2018年3月期
[経営成績]					
売上高(百万円)	62,209	63,131	67,332	72,052	76,672
売上原価(百万円)	26,856	28,073	30,012	33,192	35,478
販売費及び一般管理費(百万円)	33,058	32,194	33,862	34,949	36,800
営業利益(百万円)	2,294	2,863	3,457	3,910	4,394
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,010	1,431	2,224	2,543	2,657
設備投資(百万円)	4,958	4,780	2,256	4,729	4,474
減価償却費(百万円)	2,770	3,186	3,349	3,635	3,966
研究開発費(百万円)	2,811	2,755	3,459	3,497	3,398
[財政状況]					
総資産(百万円)	67,414	67,609	68,901	72,336	71,736
有利子負債(百万円)	19,681	19,984	16,634	19,787	16,185
純資産(百万円)	33,148	33,872	38,439	37,681	40,121
株主資本(百万円)	33,247	34,189	39,043	38,405	40,467
[キャッシュ・フローの状況]					
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,116	4,233	7,859	5,197	7,857
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 3,380	△ 3,525	△ 3,293	△ 6,065	900
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	△ 2,264	707	4,566	△ 868	8,757
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	3,029	△ 422	△ 851	△ 271	△ 4,196
ネットキャッシュ・フロー(百万円)	764	285	3,714	△ 1,139	4,561
[利益状況]					
営業利益率(%)	3.7	4.5	5.1	5.4	5.7
自己資本利益率(%)	3.1	4.3	6.2	6.7	6.8
1株当たり当期純利益金額(円)	30.93	43.79	62.52	71.75	75.67
[従業員]					
従業員数(連結・名)	2,452	2,580	2,710	2,971	3,083
従業員数(単体・名)	1,089	1,116	1,153	1,208	1,259
平均年齢(単体・歳)	-	39.02	39.05	39.08	39.11
平均勤続年数(単体・年)	-	14.33	14.64	14.49	14.53
平均年間給与(単体・千円)	-	6,221	5,875	5,939	5,756

※当社は2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第57期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

独自の道を切り拓く、先駆ける志こそがメニコンの遺伝子

メニコンは、コンタクトレンズとケア用品のパイオニア企業として、素材開発からデザイン開発、製造、物流、営業、そしてお客様への販売に至るまで、全工程で独自の安全性にこだわってきました。
常に技術の向上、品質管理体制の整備に努め、業界をリードする実績を重ねています。

1950~1969 »

ゼロからの挑戦

メニコンは1951年に創業者 田中恭一が日本初の角膜コンタクトレンズを開発したことに始まります。当時眼鏡店に勤務していた田中は、偶然、米軍の将校夫人からコンタクトレンズの話を聞きます。しかし、実物は見せてもらえませんでした。一念発起した田中は独学で研究を重ね、製品の実用化に成功。1957年にメニコンの前身である日本コンタクトレンズ株式会社を設立しました。


眼鏡店時代の
田中恭一と将校夫人


MTコンタクトレンズ
(製品化第1号)

1970~1989 »

さらなる独創へ

全くの独創で現在のハードコンタクトレンズとほぼ同じ形状のものにたどり着き、実用化に成功したという経験から、人真似をしないことがメニコンの価値観の一つとなります。素材の配合や重合方法、製品のデザインや製造方法の設計、製造設備の組み立てなどすべて独自の研究を続け、日本初の酸素透過性ハードコンタクトレンズの開発やオートメーション化した生産工場の新設などを行いました。


研究ノートの一部


メニコン関工場

1990~1999 »

品質の極みへ

1995年にメニコンの研究開発の拠点として総合研究所を設立しました。次世代のコンタクトレンズおよびケア用品を生み出すため、各分野のスペシャリストが研究を行っています。素材開発からデザイン開発、製造、物流、営業、そしてお客様への販売に至るまで、全工程で独自の安全性へのこだわりを強化し、つねに技術の向上、品質管理体制の整備に努めています。


メニコン総合研究所


メニコンZ

2000~2009 »

革新は世界へ

2001年にコンタクトレンズをいつでも安心してお使いいただくために充実したサポートを行う、業界初の定額制会員システム「メルスプラン」を導入しました。
また、高品質で安全なコンタクトレンズを世界中の人々に届けるために、世界各国に拠点を設け、各地の眼科医療に根ざしたコンタクトレンズを製造、販売しています。


NKL Contactlenzen B.V.
社屋(オランダ)


Menicon Singapore Pte. Ltd.

2010~2014 »

地球企業への誓い

メニコンはコンタクトレンズとケア用品のパイオニア企業として、常に業界をリードしてきました。事業の継続的な成長を図るとともに、コンタクトレンズで培った技術と人を活かし、動物医療事業、環境バイオ事業、ライフサイエンス事業を展開しています。「人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい」と願い、新しい価値の創造に取り組み始めました。


補助犬の健康診断


アグリ革命シリーズ

2015~

飛翔する未来へ

2015年6月25日、東京証券取引所市場第一部および名古屋証券取引所市場第一部への新規上場を果たしました。また、上場時の調達資金にて、1日使い捨てコンタクトレンズを生産する新工場への投資を行っています。今後も社会に役立つ製品とサービスを世界に提供し、皆様から尊敬され、愛される企業を目指してまいります。

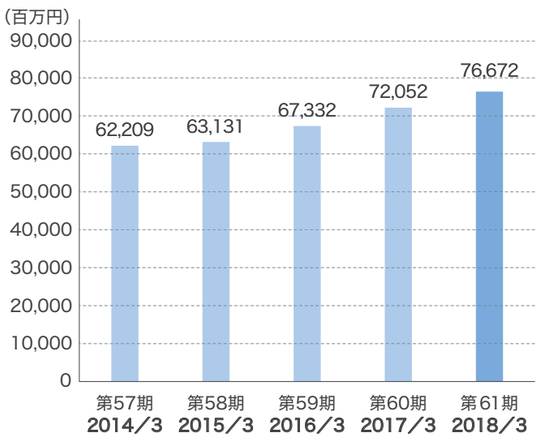


2015年6月25日
東京証券取引所

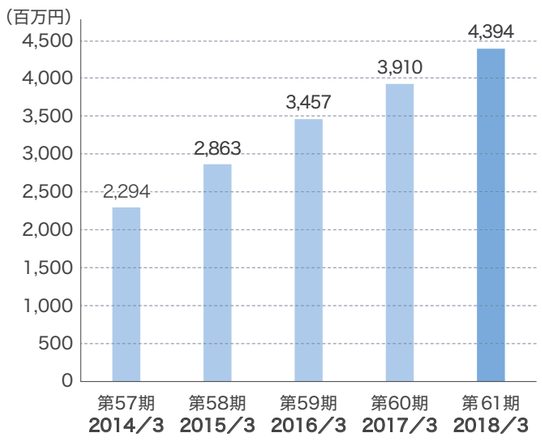

メニコン各務原工場

財務ハイライト(連結)

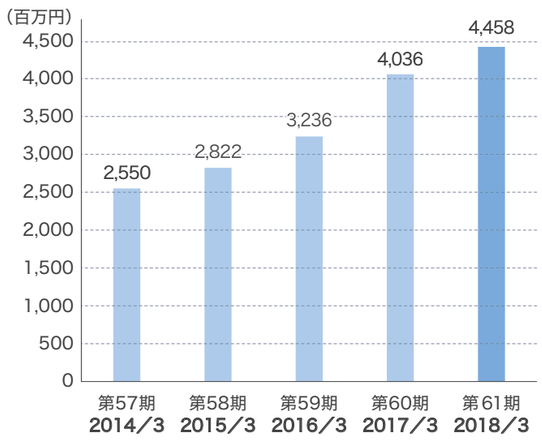
売上高



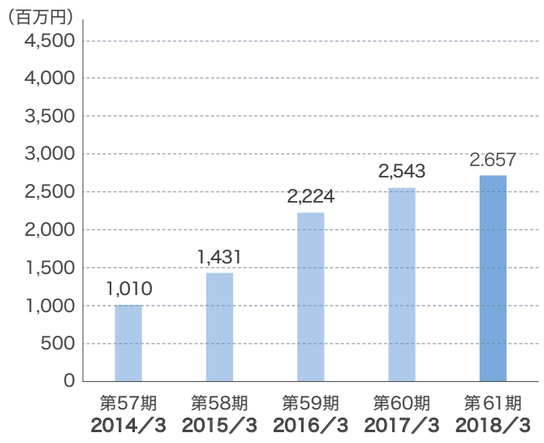
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



品質方針

優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足を高める

コンタクトレンズで培った技術、人などの資本を活用し、研究開発、製造、マーケティング、営業、販売を通じて、社会に役立つ商品やサービスを世界に提供し続けてまいります。
また、技術を応用した新たな事業に取り組むことで、新たな価値の創造にも挑戦いたします。
そして、ステークホルダーの皆様から尊敬され、愛されるよう、事業に取り組んでまいります。

インプット
企業活動に充てられる資本資源

製造資本
生産拠点
- 国内 4
- 海外 7

人的資本
従業員数
- 国内 2,488名
- 海外 595名

知的資本
研究施設
- 国内 6
- 海外 4

財務資本
資本（純資産）
- 401億円

ビジネスプロセス
お客様のために、さまざまな製品やサービスを創り出す活動の構造関係

研究開発
- 素材研究
- 技術研究
- 臨床研究

新規事業 ▶ P.14
- 動物医療事業
- 環境バイオ事業
- ライフサイエンス事業

マーケティング

営業
国内営業拠点
- 国内営業所 15カ所

海外営業拠点
- 海外現地法人 11カ所
- 販売地域 80カ所以上

メルス加盟施設
- 1,692店舗

製造

メニコン各務原工場


メニコン関工場

販売
国内販売店
- 直営店 48店舗

グループ会社
- エースコンタクト 78店舗
- 富士コンタクト 13店舗
- シティコンタクト 18店舗

全国合計 157店舗

アウトプット
ビジネスプロセスによって得られた結果

製品 ▶ P.11


メルスプラン ▶ P.12
会員数
- 127万人

財務
営業キャッシュフロー
- 78億円

ステークホルダーへの影響
メニコンの事業で得られる長期的な成果

顧客
カスタマーサービスの充実



Miru+

業界関係者
- コンタクトレンズ協会での活動

社員
社員満足向上への取り組み
- 平均年齢（単体） 39.11歳
- 平均勤続年数（単体） 14.53年

株主
株主還元
1株あたり配当金/配当性向
- 25円 / 33.0%

会社説明会など対話の機会

社会
社会貢献活動など


メニコンカップ

2018年3月31日時点

企業スローガン

より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する

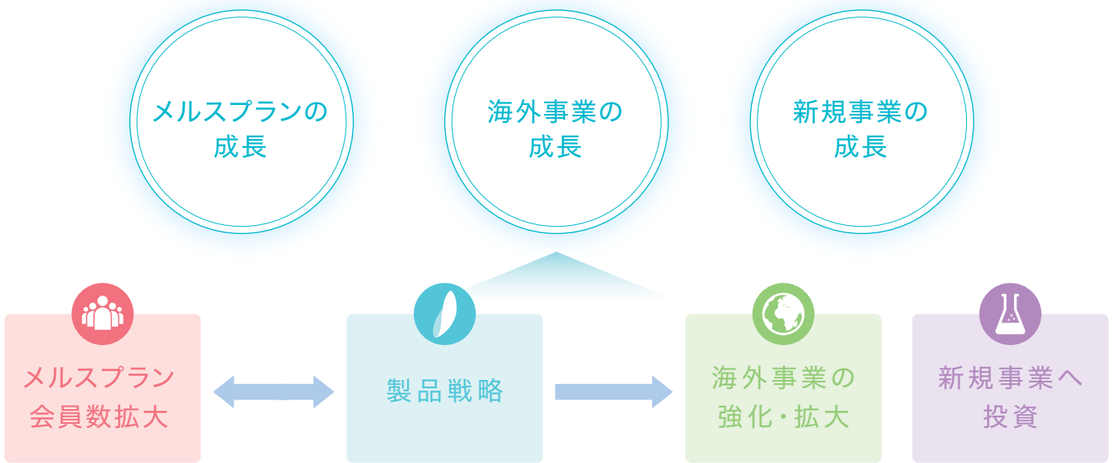
Vision2020

2020年の当社グループのあるべき姿

商品開発から顧客サービスまで一貫した優秀なシステム・体制を構築・維持することによって他の追随を許さない商品とサービスを世界中へ提供し、顧客からの絶対的な信頼・支持を得ていること。
業界関係者や同業他社との提携・協力についても柔軟な姿勢をもって臨み、健全なグローバル市場を確立し、秩序を維持することによって、エンドユーザーの健康を守っていること。
コンタクトレンズで培った技術を応用し、創造的かつ独創的な技術で眼科医療分野以外の新規事業に進出し、生命や環境に対しても新しい商品やサービスを提供していること。

中長期計画「Vision2020」の達成

売上高1,000億円、営業利益率10%の実現へ



自社商品ラインアップ



1 DAYメニコン プレミオ［1日使い捨てタイプ］
Magic［1日使い捨てタイプ］
2WEEK メニコン Rei［2週間交換タイプ］
2WEEK メニコン プレミオ［2週間交換タイプ］
メニコンティニュー［メルスプラン専用レンズ］

メルスプランを「知る」

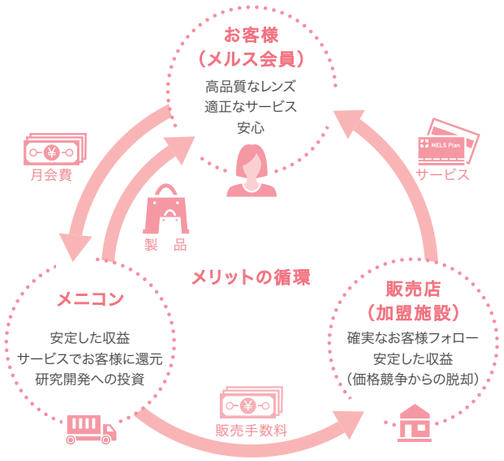
Menicon Eye Life Support Plan

メニコンの高品質なコンタクトレンズを常にベストコンディションで使い続ける、
お客様の眼の健康を最優先した全く新しいサービスシステム。
メルスプランはメニコンのコンタクトレンズを、購入するのではなく月々の定額制でご利用いただくサービスです。
お客様の大切な眼の健康を守りたいとの想いからスタートいたしました。

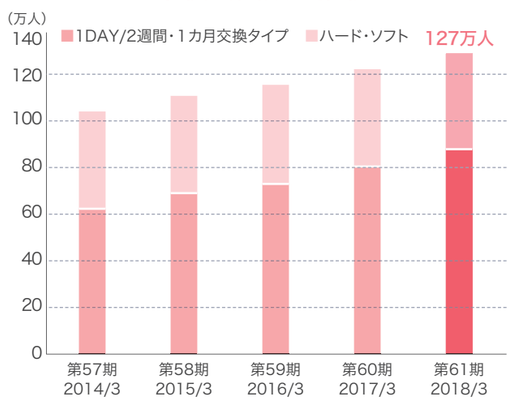
お客様にいつでも安心してお使いいただくために、充実したサポートを用意しております。万一のトラブル時には新品と交換ができ、常に良い状態でコンタクトを使うことができます。また、視力やライフスタイルの変化などによりコンタクトが合わなくなったら、いつでも度数・種類の変更ができます。これにより、費用を気にせず自分に一番合ったコンタクトレンズを選ぶことができます。
販売店にとっては、お客様の固定化が図れることから、お客様へのサービスに特化することができるメリットがあります。

お客様とメニコンが直接契約しておりますので、お客様にはメニコンに月会費をお支払いいただき、製品を受け取っていただきます。販売店にはお客様にサービスを提供いただき、メニコンから販売手数料をお支払いするという仕組みです。
おかげさまで多くのお客様にご支持いただき、会員数、売上高ともに年々伸長しております。2018年3月末時点で約127万人の会員様にご加入いただいております。

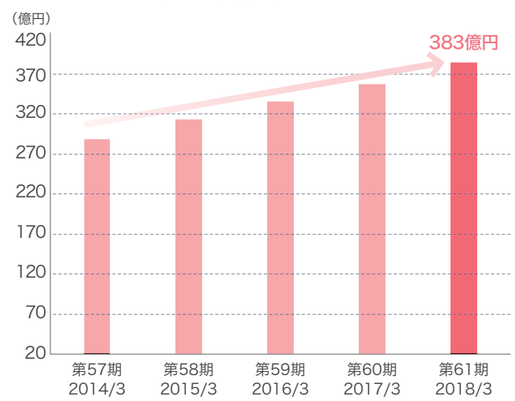
メルスプランによる〈メリットの循環〉



メルスプラン累積会員数の推移



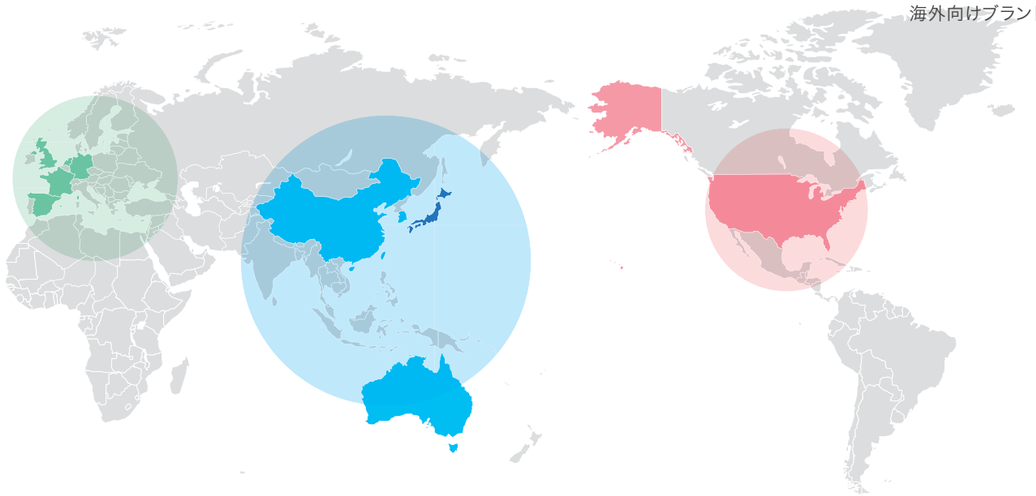
メルスプラン売上高推移



海外事業の成長戦略



海外向けブランド「Miru」



欧州

- ハードコンタクトレンズの歴史で培った信頼
- 特殊コンタクトレンズ、オーダーメイドレンズの拡販
- 量販店との1DAY、1monthの拡販

アジア

- 中国におけるオルソケラトロジーを中心とした特殊コンタクトレンズの拡販
- 1DAYおよびハードコンタクトレンズの拡販
- 東南アジアへの拡販

北米

- 量販店との1DAYの拡販
- Miru 1month Menicon発売

2018年3月期の海外売上高は85億円であり、海外売上比率は11%となりました。今後の海外事業の成長のため、中国・欧州・北米の3地域に分け、国により異なる文化や商習慣、法律による規制などを考慮した上で、各国に適した戦略を実行してまいります。

欧州では、ハードコンタクトレンズで数十年の歴史があります。その信頼を元にオルソケラトロジーレンズやオーダーメイドレンズで、売上と利益の拡大を目指します。また、構築された営業組織による、量販店での「Miru 1day Menicon Flat Pack」、「Miru 1month Menicon」の販売推進により、使い捨てコンタクトレンズ市場におけるシェアを拡大してまいります。

中国では、代理店との協力体制を強化し、オルソケラトロジーレンズを中心とした特殊コンタクトレンズに注力してまいります。合わせて1DAYおよびハードコンタクトレンズとケア用品の販売拡大を目指します。また、東南アジアへの拡販も推進しております。

北米では、「Miru 1day Menicon Flat Pack」をはじめとした、1日使い捨てコンタクトレンズの製品ラインアップを充実させ、さらに、「Miru 1month Menicon」の発売で、ディスポーザブルコンタクトレンズ市場での販売拡大を行います。市場規模の大きな米国市場でのシェアを拡大させることにより、海外事業を成長軌道に導きます。

加えて、東南アジア、中南米といった新興国についても、市場動向を注視し、長期的な視点で人脈形成や販路拡大などにより市場を育成してまいります。



オルソケラトロジーレンズ（αオルソ-K）

新規事業への挑戦

動物医療事業

- 動物用眼内レンズ
- 動物用治療用コンタクトレンズ
- 動物用医療機器
- 動物用サプリメント

環境バイオ事業

- 農業分野
- 畜産分野
- 飼料分野

ライフサイエンス事業

- 生殖補助医療製品
- 妊活支援サプリメント
- QOL向上サプリメント
- 研究用理化学製品











コンタクトレンズやケア用品の研究開発から派生した分野で様々な事業に取り組んでいます。

子会社である株式会社メニワンにて、人間の眼科分野で培った技術をベースに、動物用眼内レンズなどを取り扱う動物医療事業に取り組んでいます。治療用コンタクトレンズや眼科検査機器、サプリメントなど、動物の眼科医療を中心に展開しております。

環境バイオ事業では、ケア用品の開発過程で発見した、植物繊維を分解する酵素を使って、稲わら分解材、堆肥化促進材などを提供しております。製品を通じて、環境負荷低減と農業・畜産業などへの支援をしたいと考えております。

ライフサイエンス事業として、眼と体のためのサプリメントなどの販売や、生殖補助医療へのサポートに取り組んでおります。

その他にも、株式会社メニコンネクトにおいて、目を酷使する現代人に向けた新たなアイライフスタイルを提案しております。ルテイン※入りコーヒー「LUTEIN&ME ドリップコーヒー」に加え、「LUTEIN&ME デカフェドリップコーヒー」を発売いたしました。

今後も皆様に見える喜びと生きる喜びを提供したいとの想いで、技術を生かした新たな事業に挑戦いたします。

※ルテインは活性酸素を除去する働きを持つ抗酸化成分で、減少により目の酸化（老化）が生じる原因とも考えられております。

[COLUMN]

健康推進事業

喫煙および受動喫煙は目に悪影響を与えます。皆様の目の健康を守っていきたいとの想いから、禁煙運動推進のための研修会、講習会など各種教育事業に関する企画、立案、制作、運営ならびにコンサルティングに取り組んでおります。今後も皆様の健康増進に貢献してまいります。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

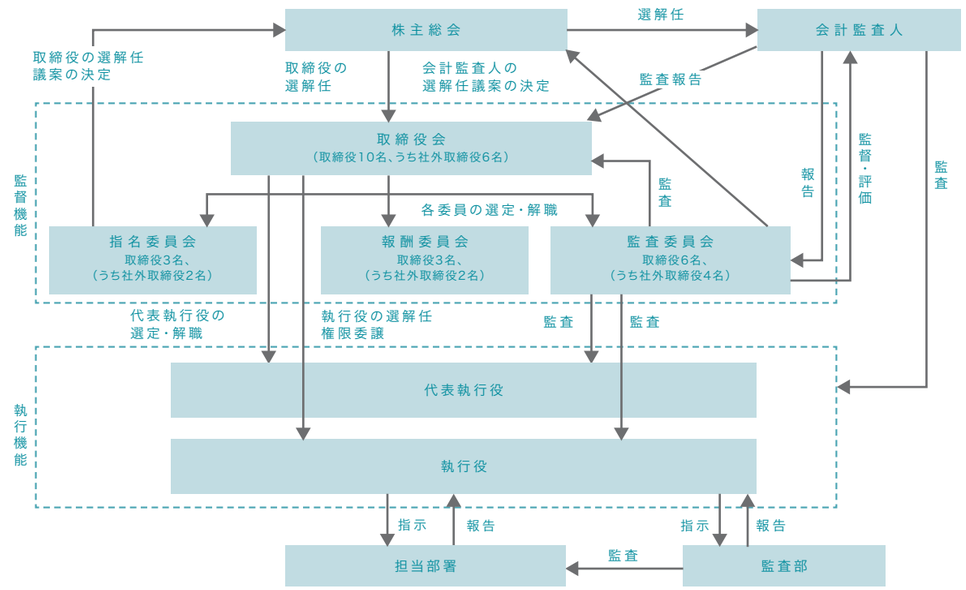
当社は株主、投資家、顧客、従業員など全てのステークホルダーから尊敬され愛される企業を目指し企業活動を行うことを基本方針のひとつとしております。そして、その実現の為にステークホルダーからの信頼獲得および健全な企業経営を重要課題と位置づけ、コーポレート・ガバナンスの実現に取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は会社法に規定する指名委員会等設置会社であり、取締役10名（うち社外取締役6名）および執行役11名（兼務取締役１名を含む）により構成されております。社外取締役は客観的・大局的に、企業価値の向上という観点から執行役が行う経営の監督ならびに助言を行っております。業務執行および経営監視の仕組みとしては、株主総会において選任された取締役で構成する取締役会が会社の重要な意思決定と執行役の監督を行い、経営を監視し、取締役会により選任された執行役が担当業務ごとに強化された権限により、迅速で効率的な業務執行を実現しております。

各委員会（指名委員会、報酬委員会、監査委員会）の委員は、過半数が社外取締役により構成されております。各委員会の役割として、「指名委員会」は次回の定時株主総会に提出する取締役候補の決定、「監査委員会」は取締役および執行役の職務執行の適法性・妥当性監査と会計監査人選任案の決定、「報酬委員会」は取締役および執行役の報酬制度・報酬額等の決定を担っております。また、業務執行上の重要案件（取締役会決議事項を除く）については、執行役全員で構成する「業績検討会議」および「執行役会」等において審議、決定することとしております。

コーポレート・ガバナンス体制



コーポレート・ガバナンス体制を採用する理由

当社の機関設計は迅速な経営意思決定の実現および監督管理機能強化の観点から指名委員会等設置会社としており、各種委員会には過半数の社外取締役を据えております。
また、監査委員会は会計監査人と連携して執行役の業務執行を監査しております。

このような考え方に基づき、当社では最良のコーポレート・ガバナンスを実現するために、「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を制定し、公表するとともに、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めてまいります。

“メニコンのコーポレート・ガバナンスについて”

社外取締役 **堀西良美**



メニコンの現在の課題について

コンタクトレンズ市場はディスポーザブルコンタクトレンズが主流になっているので、この分野におけるシェア拡大が一番の課題と言えます。田中代表執行役が常々言っているように、メニコンの１日使い捨てコンタクトレンズのコンセプト「SMART TOUCH」をグローバルで常識にしていくよう、社会に浸透させるようにさらに取り組む必要があります。
中期経営計画でも明確にしていますが、グローバルな展開が必要です。国内市場はある程度成熟した市場だと言え、今後の大きな成長はグローバルでの展開に期待がかかります。
また、新規事業の伸長も課題の一つといえます。
ガバナンス体制については、指名委員会等設置会社であり、ガバナンスに対する意識が高いのではないかと思います。取締役として運用評価するなら、現在のところしっかり運用していると言えますが、引き続き注視していきたいと考えています。

今後の成長に活かせるメニコンの特徴・強みに関するご意見

日本で最初にコンタクトレンズを開発した企業であり、日本に根付かせたことから、目に対する安全、安心を第一にしている印象です。まずはユーザーの目の健康を考える姿勢は創業以来変わらない、メニコンブランドの強みだと感じます。市場もそのようにみているのではないでしょうか。この強みは引き続き打ち出して、訴えていく必要があると考えます。

現在の取締役会運営状況の評価について

情報共有体制がきちんと整っていると感じます。事前の資料の送付や、ミーティングなどで情報共有があるので、取締役会の前に執行役への質問内容を抽出することができます。丁寧な運用をしているので、社外取締役としてはありがたいです。取締役会では意見がたくさん出ていて、活発に運営されていると感じます。

ご自身の社外取締役としての役割に関する考え

株主を含むステークホルダーの方々からの期待を考えますと、企業が適法適正に経営されていることは当然に求められることではないかと思います。その期待を意識し、弁護士として培った公平公正な視点で職務に臨んでおります。フェアな視点を持ちながら、経営に一歩踏み込んだ意見が求められていると考えております。
また、ダイバーシティーの観点から、他の取締役とは違う視点での意見も求められていると考えております。女性目線を特別に意識はしておりませんが、自分が女性であることから、意見できることもあると思います。そのような視点で会社の経営全般をみていきたいと考えております。

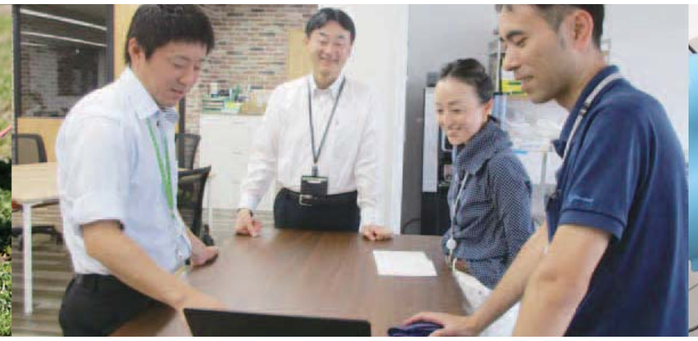
[リスク管理体制について]

当社は、リスク管理責任者を社長とし、リスク管理の全社的推進とリスク管理に必要な情報の共有化等を図るため、CSR委員会を設置しています。リスクについては、各部門のリスク評価を行い、リスクの回避・低減・移転・受容その他必要な措置を事前に講じています。
事故等発生時の対応および事故等の処理後の報告、人命に関わる緊急事態発生時の報告経路、苦情への対応、医薬品医療機器等法その他の関連法規に即した対応等を定めています。また、災害などにより重要業務が中断しないよう事業継続計画〈BCP (Business Continuity Plan)〉を整備しています。
この他に、各分野におけるリスク管理のため、「品質保証安全管理委員会」、「PLD委員会」、「個人情報保護委員会」、「メニコン公正取引管理委員会」、「倫理・コンプライアンス委員会」を設置しています。

[コンプライアンス体制について]

当社は、以下をコンプライアンスの基本方針としています。
①コンプライアンス（法令・定款等遵守）の実践を、経営の重要課題の一つとして位置付ける。
②当社の役員および社員へのコンプライアンスの徹底は、当社の経営の基盤であることを強く認識し、健全かつ公正で透明性の高い企業活動を行う。
③経営の健全性、遵法性を高めるため、コーポレートガバナンス（企業統治）機能を維持し、法令・定款等に合致した行動をとる。
④法令・定款をはじめとする社会的ルールを遵守し、企業倫理意識を常に向上させていく。
⑤常にコンプライアンスを意識した、最良の商品およびサービスを提供し、顧客満足度のさらなる向上を図る。
⑥万一、法令・定款等の違反行為が生じた場合には、原因究明を徹底して行い、再発防止に努める。






特集 Menicon Standard

いつも新たな道筋を発想し、開拓していく私たちの姿勢と想いです。

私たちの生活は、ごくごく当たり前の普通の事柄によって成り立っています。
昇る太陽の日射しを浴びながら1日がスタートし、職場や学校であいさつを交わし、
人々とのコミュニケーションを通して、社会との結びつきを深め、広げています。
メニコンという企業も、お客様の普段の生活において不便や不都合さを取り除いて、
より良い視力を提供できることを、当たり前の業務として尽力しています。
一人ひとりの“視生活”に目を配っていく、その姿勢と想いこそがメニコンスタンダード。
数字やデータで計ることのできない、私たちの基準値です。

メニコン 4つの重要課題

1 視力を提供する
あらゆる世代に応じられる、個々に最適な視力と快適なライフスタイルを提案、提供し続けます。

2 眼の健康を守る
高度管理医療機器メーカーとして、安全、快適、清潔な瞳を見守る責務を果たします。

3 技術と人材を育成する
ものづくりを支える「技」と「知」の継承。時代の流れに風化させない志で、未来を導きます。

4 持続可能な価値を創る
コンタクトレンズ事業を核に、新分野へ踏み出し、次なる企業価値を創出していきます。

メニコン環境宣言

昨今、企業が持続可能な発展に貢献することが社会的責任として位置づけられています。
メニコンは、創業以来『より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献する』を信条に、
お客様に満足いただける商品開発やサービス提供を行ってまいりました。

私たちメニコンの活動は『ずっと輝く瞳に』を願い、地球の未来を見据えて、
『人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい』と思っています。
そして、私たちが開発した技術や英知が地球のすべてに恩返しできることを夢見て、
グループ全社で挑戦していきます。



メニコンマークへの想い

メニコンマークには、上部に赤と下部に緑の配色があります。
これは、不可能を可能にする情熱の『パッションレッド』と、安全にこだわり続ける技術の『テクノグリーン』をシンボル化しています。
また、メニコンの英字表記は『Menicon』であり、その中には『eco』の文字が含まれています。

メニコンは、角膜が必要とする酸素を十分透過できる安全なコンタクトレンズの素材開発を行ってきており、
森林では、木々が大気中のCO_2を取り込んで太陽から注がれる光と葉緑素の光合成によって酸素ができます。
双方には酸素を共通のキーワードにした赤と緑の融合があります。

Menicon
Menicon
メニコンの中のエコ

環境宣言に基づくメニコンの取り組み

1 経営努力により環境への負荷を減らします
2 環境バイオ事業は環境に優しいを推進します
3 大切な水と酸素のために森づくりを推進します
4 クールビズ・ウォームビズのユニフォーム着用により省エネを推進します
5 より健康的でクリーンな環境・社会創出を推進します

特集

1 よりスマートでクリエイティブな働き方を。メニコン働き方改革「スマートクリエーション※」スタート！

※当社の経営理念を実践するため、スマートでクリエイティブな働き方や業務へシフトする取組の呼称。

創造的な働き方を実践する「スマートクリエーション」始動

メニコンは経営理念の「創造」「独創」「挑戦」を実践する働き方改革「スマートクリエーション」を始動しました。その第一弾として2017年9月に本社・本館（名古屋市中区）を改装し、フリーアドレス制を導入しました。これは他部署のスタッフとのコミュニケーションを活発にし、より創造的なアイディアや新たな価値観が生み出されることを考えた様々な施策の一環です。今後は、各事業所にも働き方改革「スマートクリエーション」プロジェクトを促進し、社員が考えるこれまで以上に働きやすい職場作りを目指していきます。

【本社オフィスの改装】

● コミュニケーションスペース

固定席を設置せずに、毎日異なるフロアやデスクで業務をすることを促進しておりコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。デスクには原則コンセントが無いため、電源が必要な時は立って業務を行う「スタンディングスペース」へ移動します。長時間のパソコン作業を無くすよう工夫しています。



● スタンディングスペース

打ち合わせを立って行うことで気軽にアイディアを出しあったり、時間短縮にも取り組んでいます。社員の健康を考えて長時間座り続けることを避けると共に、効率的に業務を行うことも実践しています。



打ち合わせ



パソコン作業

その他、集中して業務を行うためのスペースや気分転換のためのリフレッシュスペースがあります。メリハリのある働き方を促進し業務の生産性向上につなげていきます。

スマートクリエーションは、研究所にも

スマートクリエーションは研究員が働くメニコン総合研究所（愛知県春日井市）でも来年度を目途に進めていく予定です。他の研究員との交流を活発にしてクリエイティブでイノベーティブな研究成果が得られるようにフリーアドレスも視野にICT化を推進し、業務効率を上げていきたいと考えています。コンタクトレンズのパイオニア企業としてさらに皆様に愛される製品作りに反映させていきます。



特集

2 人間と動物がより身近に共存できる環境を。動物の眼科医療やサプリ開発でペットの健康をサポート！

動物医療事業への参入とメニワンの誕生

メニコンは、1997年に人間の眼科分野で培った技術をベースに動物眼科医療の分野へ参入し、同年犬用眼内レンズを、そして2002年には犬猫用治療用コンタクトレンズを発売しました。さらに2003年には経営のスピード化、製品開発のスピード化を図り、ますます高度化する動物医療に対し、万全の体制で対応できるよう、動物眼科医療を専門とする「株式会社メニワン」を設立しました。

サプリメント事業の拡大

当初は、眼内レンズや眼科器械の販売を主としていましたが、2004年のメニわんEyeの発売を皮切りに、メニにゃんEye、メニわんEyecareなど、眼科向け犬猫用サプリメントのラインアップを増やし、現在ではメニわんEye(II)シリーズ5種、メニにゃんEyeシリーズ4種を発売するなど、順調に売上を伸ばしています。
さらに2016年にはメニコングループ会社の株式会社ダブリュ・アイ・システムよりベジタブルサポート事業を統合し、眼科以外の分野にも進出を開始しました。その後、口腔ケアのPero-Oneや関節用のサプリなども発売し、動物の健康のサポートにますます力を入れています。
今やサプリメントの売上は、メニワン全体の35%ほどを占めるようになり、今後も新商品が続々と予定されていることから、ますますその構成比は上がるものと予想されます。





Meni-One
Menicon GROUP

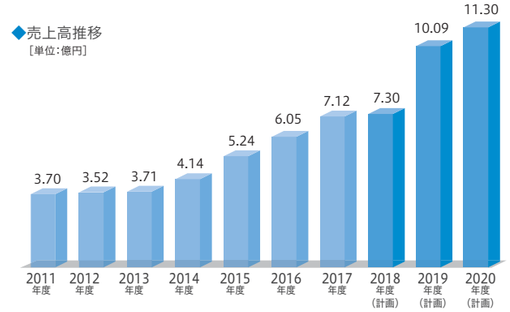
海外への進出

これまでも、眼内レンズ、シリコンボール、眼科検査機器といった商品を海外から輸入販売していましたが、2011年より本格的に中国に進出し、現地代理店と共に上海に研修センターを立ち上げ、セミナー、実習会を通じて中国獣医師のレベル向上に寄与しています。中国においては、サプリメントの現地生産にも着手し、ますますその存在感を増しています。その他東南アジア各国でも代理店を増やし、サプリメントを中心に売上を増加させていきます。



好調な売上推移

メニワンは会社設立後、順調にその売上を伸ばし、2015年度には5億円を、2016年度には6億円を、そして2017年度は7億円を達成しました。今後も国内外でその存在感を増しつつ、獣医師ひいてはペット業界に必要な企業として発展し続け、2020年度には売上11億円を達成する見込みです。



より良い視力の提供を通じて、事業を活性化させていく

共通ブランド「Miru partner」を展開

メニコンは、メニコングループのコンタクトレンズ販売会社（株式会社ダブリュ・アイ・システム、富士コンタクト株式会社、株式会社エーアイピー）の販売チェーン店（エースコンタクト、富士コンタクト、シティコンタクト）の共通ブランド「Miru partner」を展開します。

現在、各販売チェーン店では地域の皆様に親しまれている独自のロゴとスローガンを掲げており、これらは継続使用します。一方で、メニコングループ販売チェーン店共通ブランド「Miru partner」は"「見る」にこだわる"をスローガンに、メニコン直営店ブランドである「Menicon Miru」とともに一貫したサービスをお届けするパートナーとして新たな共通ブランドを掲げ、全国で浸透を図っています。各販売チェーン店のストアコンセプトをベースに、「Miru partner」として知識や経験を共有化すること、メニコン商品に限らず豊富な商品ラインアップの中からお客様のニーズにあったコンタクトレンズを提供することで、お客様の「見る」世界がより豊かで、毎日の「見る」が快適になるようご提案していきます。 メニコン直営店（48店舗）とグループ販売チェーン店であるエースコンタクト（78店舗）、富士コンタクト（13店舗）、シティコンタクト（18店舗）の販売網が一体となり、「Miru partner」ブランドを強固なものとして既存のお客様や新規のお客様にも気軽にご来店いただけるお店を展開していきます。
（店舗数は2018年3月末時点）

コンタクトレンズ用ケア用品 一部対象製品における 自主回収のお詫びとお知らせ

弊社の子会社である株式会社メニコンネクトが製造しておりますコンタクトレンズ用ケア用品の一部製品の製造工程に不適合が認められたため、該当製造番号の対象製品を自主的に回収致しました。なお、製品の出荷時における承認規格試験（無菌試験を含む）には適合しており、健康被害が発生する可能性は極めて低いものと考え、現在までのところ健康被害の報告は受けておりません。お客様ならびに関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。今後はより一層の品質管理・強化に努めてまいります。（回収開始年月日：平成29年12月29日）

株主優待制度を導入

株主の皆様にメニコンの事業を理解していただき、より多くの皆様に応援していただきたいと考え、株主優待を導入しました。メニコングループの販売店でご利用いただける優待券をはじめ、サプリメント「ラフェリアイ」やルテイン入りコーヒー「LUTEIN &MEドリップコーヒー」など、当社事業に関連した商品からお選びいただけます。
選択肢の中には当社の新規事業と関連した、トキ募金や動物愛護への寄付も用意しています。今後も株主優待も含めた情報発信を行うことで、継続して株主の皆様とのコミュニケーションを密に図っていきたいと考えています。

佐渡市と新潟県にトキ保護募金

メニコンは稲わら分解促進材「アグリ革命」シリーズの売上げの一部を寄付するため、2017年8月に佐渡市役所を訪問し「佐渡市トキ保護募金」に20万円、また新潟県庁を訪問し、「新潟県トキ保護募金」に30万円を寄付しました。
佐渡市では無農薬の米作りによりトキが生息しやすい環境づくりが進んでいます。環境省は同年7月、新潟県佐渡市でトキ77羽の巣立ちを確認し、前年の39羽から大幅に増え、2008年の放鳥開始以降で最多となったと発表しました。佐渡市で生息する野生のトキの総数は282羽前後と推定されています。

メニコンは、2011年より新潟県下の「アグリ革命」の売上の一部をトキ保護募金として寄付させていただき、トキの自然環境の保護および保全活動に役立てられています。
メニコンは環境に優しい商品開発により、トキが自然界で共存できる環境づくりを支援しています。



23回目を迎えたメニコンカップ2017

メニコンカップは中学生世代のクラブユース選手のオールスター戦で、この世代のサッカーの試合としては日本一の集客数を誇り、近年は1万人規模の観客を集めています。これまでのメニコンカップ出場選手からは、国内外のプロチームで140名を超えるプロ選手が活躍するなど、まさにプロ選手への登竜門といえる大会になっています。23回目を迎えたメニコンカップ2017 日本クラブユースサッカー東西対抗戦（U-15）は、9月10日に名古屋市パロマ瑞穂ラグビー場で開催されました。
メニコンは、「視ることの素晴らしさ」をお伝えするとともに、次世代を担う若手サッカー選手の応援はもちろん、今後も本大会への特別協賛を通じて少年・少女たちの「夢」を応援し続けていきます。

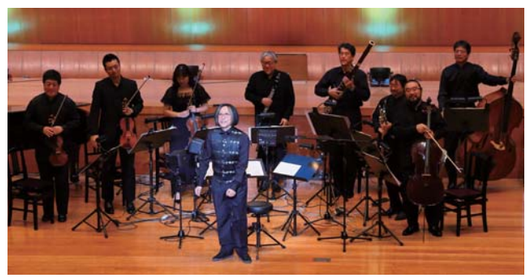
なお、東日本大震災で被災した子供たちに夢と希望をお届けすることを目的に、募金活動も行われ、募金総額36,250円が、グラウンドの復旧・維持管理に必要な「芝生の種」にして、福島県相馬市の光陽サッカー場に送られます。



メニコンスーパーコンサート2017

メニコンは視ることの素晴らしさを多くの方にお届けするために、ホールの臨場感や指揮者の躍動感などを生で感じ、目で見て楽しんでいただけるよう、毎年メニコンスーパーコンサートを開催しています。
2017年は福岡にて、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽を担当された宮川彬良さんによる、「メニコンスーパーコンサート2017 宮川彬良＆アンサンブル・ベガ特別演奏会」を開催しました。
公演には、コンタクトレンズを使用していただいているユーザーを中心に500名様をご招待し、歌劇 「あしたの瞳～もうひとつの未来」スペシャルダイジェストとして、宮川彬良さんの音楽家としてのお仕事の秘話や、ピアノの演奏をイントロダクションとし、宮川さんが初めててがけたオペラ「あしたの瞳」から十数曲をお届けしました。

※「あしたの瞳」は2013年に東京、2015年に名古屋で上演した宮川彬良さん初の書き下ろしオペラです。コンタクトレンズを生み出した男の半生を紐解きながら「みることとはなにか？」という問いかけを通じて、人間の心の根源へ迫り、人生を豊かに生きることのエッセンスを伝えています。



取締役



田中 英成
昭和62年　当社入社
平成 6年　当社取締役
平成11年　当社取締役副社長
平成12年　当社代表取締役社長
平成22年　当社取締役兼代表執行役(現任)



冨金原 守
昭和52年　当社入社
平成15年　当社執行役員　生産本部長
平成18年　当社執行役員　管理本部長
平成22年　当社執行役　経営管理室長
平成25年　当社執行役　海外法人統括本部長
平成27年　当社取締役(現任)



米田 静也
昭和51年　当社入社
平成21年　当社執行役員　生産本部長
平成22年　当社執行役　生産物流本部長
平成23年　当社執行役　グローバル生産・物流戦略室長
平成27年　当社執行役　生産物流統轄本部長
平成28年　当社取締役(現任)



滝野 喜之
昭和59年　当社入社
平成28年　当社執行役　経営管理室長(現任)
平成29年　当社執行役　経営統括本部経営管理室長
平成30年　当社取締役(現任)



片山 主水
昭和43年　弁護士登録
平成11年　当社監査役
平成22年　当社取締役(現任)
<重要な兼職の状況>
学校法人高岡学園　理事長



岡田 廣司
昭和43年　ブラザー工業株式会社入社
平成15年　名古屋市立大学大学院経済学研究科教授
平成17年　中国江漢大学客員教授
平成19年　椙山女学園大学現代マネジメント学部教授
平成21年　中国山東省維坊市「櫻山日本語学校」校長
平成22年　当社取締役(現任)
<重要な兼職の状況>
東京福祉大学大学院教授



髙木 一博
昭和50年　税理士登録
昭和52年　公認会計士登録
昭和54年　不動産鑑定士登録
　　髙木公認会計士事務所開設
平成 3年　センチュリー監査法人
　　(現・新日本有限責任監査法人)代表社員
平成22年　当社取締役(現任)



堀西 良美
平成12年　弁護士登録
　　名古屋弁護士会入会
平成16年　旭川弁護士会入会
平成19年　名古屋弁護士会(現・愛知県弁護士会)再入会
平成26年　名古屋市建築紛争調停委員会委員
　　名古屋簡易裁判所民事調停官
平成28年　当社取締役(現任)



本多 英司
昭和52年　エーザイ株式会社入社
平成15年　エーザイ株式会社執行役員　国際事業開発部長
平成17年　エーザイ株式会社執行役員　薬粧事業部長
平成19年　エーザイ株式会社常務執行役
　　エーザイ・ジャパンプレジデント
平成20年　エーザイ株式会社専務執行役
　　エーザイ・ジャパンプレジデント
平成23年　エーザイ株式会社代表執行役
　　イースト・アジア・リージョンプレジデント
平成25年　エーザイ株式会社代表執行役
　　アジア・リージョンプレジデント
平成29年　当社取締役(現任)



渡辺 眞吾
昭和55年　デトロイト・ハスキンズ・アンド・セルズ会計事務所入社
昭和59年　公認会計士登録
昭和62年　アーストアンドヤング・デュッセルドルフ事務所
平成 2年　アーストアンドヤング・チューリッヒ事務所
平成 7年　アーストアンドヤング・ロンドン事務所
平成10年　新日本監査法人(現・新日本有限責任監査法人)
　　名古屋事務所
平成29年　渡辺眞吾公認会計士事務所(現任)
平成30年　当社取締役(現任)

執行役



太田 章徳
昭和55年　当社入社
平成25年　当社執行役　経営管理室長
　　当社最高財務責任者(CFO)
平成28年　当社執行役　経営戦略室長
平成29年　当社執行役　経営統括本部長(現任)



渡邉 基成
平成 9年　当社入社
平成29年　当社執行役　経営戦略室長
平成30年　当社執行役　戦略統括本部長(現任)
　　当社最高財務責任者(CFO)(現任)



杉山 章寿
昭和60年　当社入社
平成17年　当社執行役員　開発本部長
平成22年　当社執行役　開発本部長
平成23年　当社執行役
　　グローバル研究開発戦略室長、開発本部長
平成24年　当社執行役　開発本部長
平成27年　当社執行役　研究開発本部長
平成28年　当社執行役　新規事業本部長
平成29年　当社執行役　新規事業統括本部長
平成30年　当社執行役　管理統括本部長(現任)



川浦 康嗣
平成 4年　当社入社
平成25年　当社執行役
　　エリア&プロダクツマーケティング戦略室長
平成27年　当社執行役　ブランド戦略室長
平成28年　当社執行役　商品開発本部長
平成29年　当社執行役　生産開発統括本部長(現任)



スティーブ・ニューマン
平成 9年　Igel CM Laboratory Pte. Ltd.入社
平成19年　当社入社、R&Dヴァイスプレジデント
平成22年　Menicon Singapore Pte.Ltd.技術担当役員(CTO)
平成25年　Menicon Singapore Pte. Ltd. 社長
　　兼当社エリア&プロダクツマーケティング戦略室副室長
平成27年　Menicon Singapore Pte. Ltd. 社長
　　兼当社ブランド戦略室副室長
平成28年　Menicon Singapore Pte. Ltd. 社長
　　兼当社商品開発本部副本部長
平成29年　当社執行役　商品開発本部長(現任)



三浦 要和
昭和59年　当社入社
平成29年　当社執行役　生産物流本部長(現任)



篠田 浩樹
昭和61年　当社入社
平成25年　当社執行役　国内営業本部長
平成27年　当社執行役　国内第2営業本部長
平成30年　当社執行役　国内営業統括本部長(現任)



森山 久
昭和63年　当社入社
平成28年　当社執行役 国内第1営業本部長
平成30年　当社執行役
　　国内営業統括本部副統括本部長(現任)



古賀 秀樹
平成 5年　当社入社
平成28年　当社執行役　海外本部長
平成29年　当社執行役　海外統括本部長(現任)



伊藤 渉
昭和58年　当社入社
平成28年　当社執行役　国内マーケティング戦略室長
平成30年　当社執行役　新規事業統括本部長(現任)

2018年7月現在

会社概要および株式の状況 CORPORATE DATA AND INFORMATION OF SHARES

2018年3月31日現在

会社名	株式会社メニコン
代表者名	代表執行役社長 田中英成
本社所在地	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
電話番号	052-935-1515(代)
創業	1951年2月
設立	1957年7月
資本金	33億79百万円
従業員数	3,083名(連結)　1,259名(単体)
事業内容	コンタクトレンズ・ケア用品事業他
事業所数	営業所15、販売店48、研究所・工場6、カスタマーセンター1、物流センター4(単体)
関係会社数	国内7、海外15
取引先	全国の病院、眼科医院、コンタクトレンズ販売店、眼鏡店、薬店卸、海外の販売会社(世界80数ヵ国への輸出)
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、静岡銀行他
URL	www.menicon.co.jp　／　www.menicon.com
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京、名古屋
証券コード	7780

■大株主

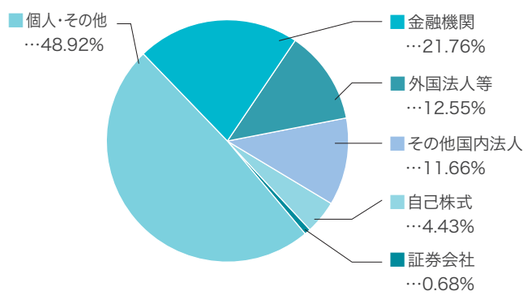
株主名	持株数(千株)
株式会社 トヨトミ	1,982
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,886
田中 英成	1,826
メニコン社員持株会	1,616
塚本 香津子	1,414
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,118
株式会社 マミ	1,034
株式会社三菱東京UFJ銀行	800
田中 康範	682
田中 淳子	658

当社は自己株式1,631千株を保有。　注) 株式会社 三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で株式会社 三菱UFJ銀行へ商号変更しております。　2018年3月31日時点

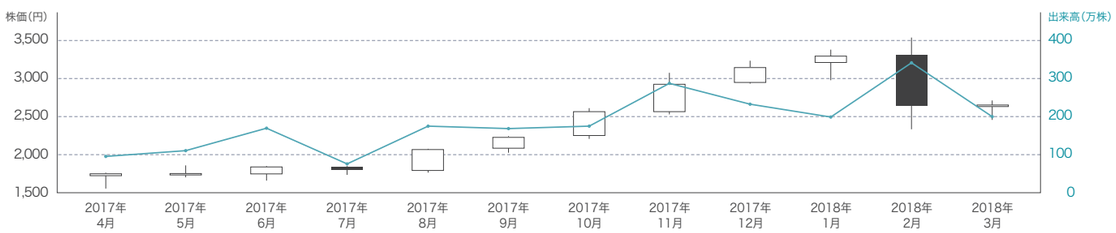
■株主状況

発行可能株式総数	62,184,000株
発行済株式の総数	36,804,000株
株主数	4,068名
議決権総数	351,709個

■所有者別株式比率



■株価・出来高推移



※当社は2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年4月1日に当該株式分割が行われたと仮定し、株価・出来高を算定しております。

関係会社一覧 LIST OF RELATED COMPANIES

株式会社メニコンネクト
〒452-0805
名古屋市西区市場木町390番地 ミユキビジネスパーク
TEL: (052)325-7351
http://www.meniconnect.co.jp

株式会社メニワン
〒452-0805
名古屋市西区市場木町390番地 ミユキビジネスパーク
TEL: (052)325-3823
http://www.meni-one.com

富士コンタクト株式会社
〒170-0013
東京都豊島区東池袋一丁目41番7号 池袋東口ビル5階
TEL: (03)5952-1081
http://www.fujicontact.com/

株式会社エーアイピー
〒819-0006
福岡市西区姪浜駅南三丁目16番22号
TEL: (092)884-0780
https://www.city-contact.com/contents/company.html

NKL Contactlenzen B.V.
Waanderweg 6, 7812 HZ Emmen, The Netherlands
TEL: +31 (0)591 610 640
http://www.contactlenzen.nl

Menicon Pharma SAS
Boulevard Sebastien Brant, Parc d'Innovation, F-67400
Illkirch-Graffenstaden, France
TEL: +33 (0)3 88 66 81 30

Menicon Limited
Gatelodge Close, Round Spinney, Northampton,
NN3 8RJ UK
TEL: +44 (0)1604 646216
http://www.menicon.co.uk

Menicon America, Inc.
76 Treble Cove Rd, Bldg #3, North Billerica, MA 01862, USA
TEL: +1-781-609-2042
http://www.meniconamerica.com

Menicon Singapore Pte. Ltd.
8 International Business Park, Singapore 609925, Singapore
TEL: +65-6411-4777

Menicon Australia Pty Ltd
3 Lloyd Street, St Marys, SA 5042, Australia
TEL: +61-(0)8 8277 4545

First Glory Holdings Ltd.
Unit D, 15F, Prosperous Comm Bldg, 54-58 Jardine's Bazaar,
Causeway Bay, Hong Kong

株式会社メニコンビジネスアシスト
〒460-0006
名古屋市中区葵三丁目21番19号
TEL: (052)979-3222
http://www.menicon-ba.co.jp

株式会社ダブリュ・アイ・システム
〒171-0014
東京都豊島区池袋二丁目43番1号 池袋青柳ビル5階
TEL: (03)5979-1140
http://www.wis.co.jp

株式会社アルファコーポレーション
〒461-0001
名古屋市東区泉一丁目8-16
TEL: (052)971-6000
http://www.alphacl.co.jp/

Menicon Holdings B.V.
Waanderweg 6, 7812 HZ Emmen, The Netherlands
TEL: +31 (0)591 610 640

Menicon SAS
13 Rue de la Perdrix, CS 20061 Villepinte,
95926 Roissy Charles de Gaulle CEDEX, France
TEL: +33 (0)1 85 73 13 11
http://www.menicon.fr

Menicon GmbH
Jakob-Latscha-Straße 3, 60314 Frankfurt am Main, Germany
TEL: +49 (0)69-84 00 08 10
http://www.menicon.de

Menicon España S.L.
C/Córcega Nº 329, 5º 2ª, 08037 Barcelona, Spain
TEL: +34 93 272 13 69
http://www.menicon.es

The Lagado Corporation
2890 South Tejon Street, Englewood, CO 80110, USA
TEL: +1-303-789-0933
http://www.lagadocorp.co/

Menicon Singapore Sales Pte. Ltd.
8 International Business Park, Singapore 609925, Singapore
TEL: +65-6411-4778

Menicon Korea Co., Ltd.
2-203, Ace high-end tower, 61, Digital-ro, 26-gil, Guro-dong,
Guro-ku, Seoul, 08389, Korea
TEL: +82-(0)2 718-5123
http://www.menicon.co.kr/

〈持分法適用会社〉

温州欣視界科技有限公司
Wenzhou Medical College, 270 Xueyuan Road, Wenzhou,
Zhejiang 325027, China
TEL: +86-577-88-0688889

株式会社メニコン
〒460-0006　愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
TEL 052-935-1515（代）
http://www.menicon.co.jp